

入試分析 英語

【主な特徴】

- ① 設問数・配点は変更なし。問2の単語選択は独立短文形式に、問6の英文内の図表は消滅。
- ② 問6以降の読解 40 点も重要だが、整序などでは和訳に頼らない文法的な思考力が求められる。

【出題形式】

問1:リスニング

難解な設問は見当たらないが聞き慣れていないと差が付くので、リスニング講座で訓練していく必要がある。

問2:会話文中の適語選択

昨年は一続きの対話文内の空所を補う形式だったが、今年は独立短文形式に変更。読解の要素がなくなり易化。

問3:適語(語句)選択

(ア)は for three years に引きずられて現在完了を選びがち。やや難問。その他は内容から both を選ぶ問題、適切な疑問詞を選ぶ問題、前置詞の直後の動詞の形を選ぶ問題など基本的な出題。

問4:整序英作文

(ア)は関係代名詞の省略、(イ)は間接疑問文、(ウ)は文法的に考えて Do we から始められるかがカギ。(エ)は be afraid of を覚えていれば易しい。

問5:イラスト英作文

直後の相手のセリフに「Yes, I do.」があることと know を使うことから Do you know から始める。後は対話の流れを意識して条件の bus, goes を使えばよい。易化。

問6:読解

AIに関連する読解問題。文章内の図表は消滅した一方で問題構成は例年通り。難解な設問は見当たらない。易化。

問7:図表読解

(ア)は対話の内容に合う店を選ぶ問題。(イ)は対話と図表から「期日までのやることリスト」を完成させる問題。問題の意図を読み取るのに苦労した生徒がいるかもしれない。

問8:長文読解(対話文)

英文の量が昨年に続いて減少し、2年前の分量の約8割にまでなった一方で、テーマが「米の消費と食生活の変化」に関するやや固い内容だったため解きにくさがあったかもしれない。

実際の問題にチャレンジ! 問3 適語選択 & 問4 整序英作

問3 次の各英文の空所に入れるのに最も適するものを、あとの1~4の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(イ) A: Which would you like to drink, apple juice or orange juice?

B: Well, it's difficult for me to choose because I like () apple juice and orange juice.

1. between 2. about 3. both 4. than

(エ) A: Why do you like your English class?

B: Because I can learn a lot of things by () with my friends in English.

1. to talk 2. Have talked 3. talked 4. talking

問4 次の対話文が完成するように並べ替えなさい。ただし、一つずつ不要な語がある。

(ウ) A: Eri, (1. have 2. we 3. milk 4. are 5. any 6. do) left in the bottle?

B: No, I drank it all.

《解答》問3(イ)3 (エ)4 問4(ウ)6-2-1-5-3[Do we have any milk]

【新中2・新中3生へ】

読解問題の英文量は減少傾向にありますが、1文が長くなることで内容をつかむことがこれまで以上に難しくなっています。また、序盤の英文法に関する問題でも、和訳に頼らない論理的な思考力が求められる傾向にあります。英語で高得点を狙うには、すべての土台となる英単語と英文法をしっかりと身に付けるとともに、リスニングや読解問題に対しても免疫を付けられるような訓練が必要です。